

# 企業に求められる持続可能な調達 「オリンピック・パラリンピック」を事例に・・・

株式会社 ENERGETIC GREEN

和田 征樹

# 企業に求めた社会課題改善への要求事例・・・

世界的なスポーツイベント、オリンピック・ワールドカップ開催国では、国際NGO・NPOや国際メディアなどの活動が活発化し、各企業に社会課題への対応を要求することがある。

## 【要求事例】

1. 2014冬季ソチオリンピック:低賃金長時間労働を強いられ、施設を建設、働く出稼ぎ労働者たちが搾取され、賃金を支払ってもらえなかったり、休日がほとんどない状態で1日12時間労働を強いられたり、逃亡防止のためにパスポートを没収されたりしていた者もいるという。
3. 2012ロンドンオリンピック:オリンピックの「ぬいぐるみ」を製造をする公式メーカーの児童労働者や出稼ぎ労働者が法廷最低賃金の半分以下で働かせていると報告された。
4. 2002日韓W杯:米国のFLAが日本に来日し、スポーツシューズ工場の監査を抜き打ちで実施(日本以外の工場も監査される)。外国人技能実習生に関する指摘をだされた。

# 企業に求めた社会課題改善への要求事例・・・ (スポーツ業界)

## \* アディダス

### \* 背景

1989年より、取組をスタート、1998年にCOC(行動規範)を策定し、本格的な取組をスタートさせた。

NGO・NPOから、労働に関する指摘を受け、取組をせざる負えない状況になった。オリンピックやワールドカップが開催される国においては、NGO・NPOの監視も強化され、日韓ワールドカップの際には、FLA(Fair Labour Association)が国内工場を監査した。

### \* 取組

サプライチェーンに関して、継続的に労働者権利(人権)、児童労働、労働安全衛生、賃金、化学物質の取り扱いに関して、取組をしている。以前から、ワーカーズホットラインを設置していたが、近年においては、SNSを積極的に活用し、双方向のコミュニケーションを行っている。

## \* アシックス

### \* 背景

2004年アテネオリンピック開催に向けて、国際NGOが行った、PLAY FAIRキャンペーンで、名指しで、要求事項を伝えられた。尚、ミズノも名同時に伝えられている。

### \* 取組

アシックスは、サプライチェーン、特に業務委託先工場及びそこで働く人々とともに発展できる関係作りに努めていて、国際労働機関(ILO)憲章及びWFSGI(世界スポーツ工業連盟)の行動規範モデルにのっとり「アシックス業務委託先管理方針」に基づき、工場監査及び工場と協働での改善活動に取り組んでいる。

# CSRとは・・・

CSR=公共政策課題-政府の調整能力

CSR≠コンプライアンス(法令遵守)

CSR≠フィランソピー(利益の一部を社会・環境活動)

IF CSR度が高い企業，企業評価が高い。

ステークホルダー視点(NGO・NPO・消費者・利害関係者等)

1. 信頼の向上
2. 企業価値の向上
3. 選ばれる企業



社会課題に対しての透明性の向上・情報の発信を求める



企業にとっては、経営のあり方・手法であり、その創造と進化が問われている



継続性の向上(サステナビリティの向上)

ご清聴ありがとうございます。

(株)エナジェティックグリーン

共同代表 和田 征樹

E-MAIL: [energetic.green@gmail.com](mailto:energetic.green@gmail.com)

MP:+81-90-3341-8472